



地域おこし協力隊通信

第14回

3月5日と6日に能代市総合体育館でハピネット戦が開催されました。会場に駆けつけた方も多いのではないのでしょうか。バスケの街・能代を盛り上げるビッグイベントの一つでしたね。私は昨年の5月の就任だったので関わりを持ったのは初めてで、観戦するのも初めてでした。ドキドキワクワクしながら試合を観ましたが、選手たちの激しいぶつかり合いや巧みなボールさばき、本当にすてきでした。あんなに簡単にプレーしていると自分でもできるんじゃないかな?と思ってしまうましたが、やはり難しいですね。ボールがリングまで届かない私の運動能力にはがっかりしてしまいます・・・。



2日間の試合観戦は、本当に楽しいひとときでした。今回は前日の会場づくりもお手伝いしましたが、細やかな会場づくりがあるからこそその大きな盛り上がりがあるのだなと感じます。チームスタッフがステイジやイス、スポーツ用床材のはめ込みなど、ボランティアの助けを借りながら会場を仕上げていくことは、地味な作業のようですが、これがあるからこそ試合ができ、大きな盛り上がりとなると感じました。私もバスケの街・能代PRを頑張っていこうと改めて思うハピネット戦でした。

能代市地域おこし協力隊フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/noshirokyoryokutai>

問合せ 市民活力推進課 ☎89・2212



このコーナーでは、今回から市内で操業する誘致企業を紹介します。



No.55

誘致企業編

株式会社 グラノプト

小さくても世界ナンバー1の
エクセレントカンパニーを!



【会社概要】
代表取締役社長 関和 秀幸
能代市扇田字扇洲4-4
☎70-1800
設立 2005年4月1日
事業内容 ファラデーローテータの製造・販売

一社員からひとこと



技術開発グループ

中川 悟さん(新山前)

能代高校、山形大学と進み、地元に戻り仕事をしたいと就職活動していました。偶然見た広報のしるにこの会社載っていて、事業内容に興味を持ち、就職することができました。

この会社で製造するファラデーローテータは光通信設備に必要とされるもので、世界的にも需要の増加が見込まれています。また、成長も期待され、売り上げも好調とのことですので、入社して良かったと思います。職場の雰囲気がとてもよく、働きやすいし、働きがいもあります。

今回は、能代工業団地で2005年から操業している、グラノプトにお伺いし、代表取締役社長 関和秀幸さんにお話を伺いました。

グラノプトとはどのような会社ですか

ひかり電話やインターネットに接続するための光通信の信号を制御する光アイソレータ用部品でファラデーローテータを製造しています。三菱ガス化学と住友金属鉱山が、それぞれで事業を行っ



11mm 四方に加工されたファラデーローテータ

ていましたが、生産性を向上させるため、事業を統合して設立した会社です。世界シェア1位、2位の統合であったこともあり、当社は断トツで世界シェアのナンバー1を誇っています。

能代で操業した理由を教えてください

住友金属鉱山のグループ会社で、光アイソレータを製造している、エス・エム・エムプレジジョンが能代で操業していた縁があったからです。

会社のモットーや精神を教えてください

「小さくとも世界ナンバー1のエクセレント・カンパニーを！」を会社方針とし、事業環境の変化にも対応できる体質を持ち続け頑張っています。